

教育警察委員会の概要(教育)

| | | | |
|---------------|--|---|----------------------|
| 開催年月日 | 令和3年12月13日 | 開会、閉会時間 | 12時58分から 13時32分まで |
| 委員の出欠 | 出席：田中委員長、恩田副委員長 森(正)委員、伊藤(秀)委員、林委員、長屋委員、平野(恭)委員、 森(益)委員 欠席：なし | | |
| (付託案件の可否) | | | |
| (予 算) | 議第139号 | 令和3年度岐阜県一般会計補正予算のうち歳出予算補正中教育警察委員会 関係及び繰越明許費補正中教育警察委員会関係 | (可決) |
| (請 願) | 請願第30号 | 少人数学級の前進、保護者負担の軽減、教育条件の改善を！2021年度すべて の子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願 | (不採択) |
| (質疑の内容) | | | |
| 発言者 | 発言内容 | | |
| 【12月補正予算】 | | | |
| 長屋委員 | 特別教室に電子黒板機能付きプロジェクタ等を設置する事業について、理科教室や家庭 科教室の総数は。 | | |
| ICT教育 推進室長 | 原則として各学校に1室以上設置されている。ただし、例えば、理科の場合は学校規模 に応じて、物理実験室や化学実験室のように、いくつかに分かれている場合もある。 | | |
| 長屋委員 | 国がデジタル化の方向性を示した中で、今いる生徒のために整備を進めていくことは重 要。一方で、今後の生徒数の推移により厳しい判断をしなければならない学校もあると思 う。そういった学校に投資することについて、早めの判断が必要ではないか。 | | |
| 教育長 | 高等学校のあり方については、今後具体的な議論を進めていくところ。そういった中、 今回の整備については、今いる子どもたちにより良い教育を受けさせるためのものである。 また、耐用年数もあるが、今回の追加整備は一部の特別教室に留まる上、移設が可能であ ることから生徒数の変化に合わせて、有効に活用できるよう検討していきたい。 | | |
| 長屋委員 | 通信環境の不良を指摘する声がある。生徒数が多い学校ほど、その傾向が強くなると思 うが、現状はどうか。 | | |
| ICT教育 推進室長 | 今年度中も改善工事を継続的に行っている。夏には、大規模校25校で通信環境の改善 工事を行った他、アクセスポイントのバイパス工事を実施したところ。これらの工事の成 果もあり、現在は通信環境の不良に関する声は減っていると認識している。今後も学校現 場の声を聞き、ニーズに合わせて対応していく。 | | |
| 伊藤(秀)委員 | タブレット端末を授業中に落として壊れることがよくあると聞いたが、現状はどうか。 | | |
| ICT教育 推進室長 | 学校の机のサイズはJIS規格によるもので、タブレット端末と教科書、ノートの併用 が想定されていないため、机上が狭く、タブレット端末を授業中に落としてしまう事例が | | |

| | |
|---|---|
| | 散見された。クリップで落下を防止する方法や、タブレット端末を使用する際は机上を片付けるなどの指導を行い、現在は教室内での落下事例は減ってきているのが現状である。 |
| 【請願】 少人数学級の前進、保護者負担の軽減、教育条件の改善を！2021年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願 | |
| | ※伊藤（秀）委員より不採択とすべき発言があり、採決の結果、不採択とすべきものとされた。 |
| 長屋委員 | 県立学校のトイレの利用について、トランスジェンダーの生徒にはどのように対応しているか。 |
| 学校安全課長 | 県立学校の全てに多目的トイレが整備されており、そちらを利用することで対応している。 |
| 【陳情】 | |
| | (質疑なし) |
| 【その他報告】 県教育委員会における「過労死等防止啓発月間」の実施結果について | |
| 長屋委員 | 高ストレス教職員361名(6.2%)の原因は何か。どのようなケースが多いのか。原因が分からないと議論等ができない。ストレス原因の全体の傾向を知りたい。 |
| 教職員課長 | 手元に分析結果を持ち合わせていないので、確認して後ほど報告する。 ※後日、長屋委員と面談し説明予定 |
| 【その他】 | |
| 伊藤(秀)委員 | 挨拶等のマナー向上に関する運動が小中学校に広がるにはどうすればよいか。教育長としての思いを聞きたい。 |
| 教育長 | 県が統一的に小中学校の取組みを決めることは難しい。挨拶は言葉と形だけでなく、心から発するものであるべきと考えている。そういった心を育んでいく取組みが広まるように、今議会の一般質問を受け止め、対応を検討していく。 |
| 恩田副委員長 | 令和3年第5回定例会において新入学児童の通学路安全確認について、学校が保護者や地域とも連携して取り組んでいくとのことだったが、地域住民に児童生徒の自宅の位置など詳細な情報が伝えられず、人数が伝えられるだけの学校もあると聞いている。学校が保護者や地域と協力して安全確保の取組みが充実するよう、必要な情報を共有していくことも含めて対応をお願いします。 |